

ごみの資源化・減量化を推進しています！

ごみの資源化・減量化は、焼却ごみや埋立ごみを減らし、環境への影響を減らすことができるとともに、限りある資源の有効活用につながります。

町では、ごみの分別を推進し、町から排出される年間総ごみ量の4分の1程度をリサイクルしています。ペットボトル、容器包装プラスチック・ビニール、新聞紙、紙類、ダンボール、びん類、缶類、衣類等、ごみのリサイクル（資源化）にご協力ください。

3R推進とは

環境省が推進する3R（スリーアール）は、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の頭文字を表し、その意味は次のとおりです。

① Reduce（リデュース）…物を大切に使い、ごみを減らすこと（ごみの発生抑制）。
例えば、買物にはマイバッグを持参する。余計な包装は断る。ばら売りや量り売りで必要な分だけ購入する等。

② Reuse（リユース）…使える物は、繰り返し使うこと（再使用）。
例えば、詰め替え用の製品を購入する。フリーマーケットやリサイクルショップを活用する等。

③ Recycle（リサイクル）…ごみを資源として再利用すること（ごみの再生利用）。
例えば、ごみを正しく分別する。再生製品を利用する等。

生ごみへの取り組み

町では、ごみの減量化のため、生ごみの自家処理を推進しています。

① 生ごみ処理機器等購入費補助金

家庭から排出される生ごみの自家処理に対して補助金を交付しています。

補助金額は、生ごみ処理機器等の購入価格の2分の1以内。ただし、3万円を限度とします。

申請方法、対象者等については、環境保健係までお問い合わせください。

② ダンボールコンポスト

ダンボールコンポストによる生ごみの堆肥化を支援しています。ダンボール箱と腐葉土を提供しています。詳細は、環境保健係までお問い合わせください。

食べ残しを減らす県民運動

県では、忘新年会や暑気払いの期間を重点に、「宴会食べきりキャンペーン」を実施しています。生ごみの発生抑制のため、食べ残しの削減にご協力ください。

しいなちゃん!
このごみどっち?



このごみの分別方法は？



白色の壊れた発泡スチロール箱



誤 可燃ごみの指定袋に入れて出す。

正 資源ごみ

白色の壊れた発泡スチロール箱は、収集用ネットに入れて出す。
白色以外の発泡スチロール箱は、容器包装プラスチック及びビニール指定袋に入れて出す。

※汚れた発泡スチロール箱は、可燃ごみの指定袋に入れて出す。

「たてしな環境フェア2015」実行委員を募集します！

権現山運動公園の屋内運動場一帯で「たてしな環境フェア2015」の開催を予定しています。

環境保全に関心・思いのある方は、ぜひ、実行委員になって一緒に環境フェアを盛り上げてみませんか!?

※第1回目の実行委員会は、平成27年1月20日(火)に開催予定。

お問い合わせ・応募先

「たてしな環境フェア2015」実行委員会事務局（環境保健係）まで。
電話 56-2311 有線 2311

